

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 聖心女子学院高等科
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒108-0072
東京都港区白金4-11-1
 E-mail : _____
 Website : <http://www.tky-sacred-heart.ed.jp/ck/>
 児童生徒数：男子 0名 女子 365名 合計 365名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 奉仕活動 ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

① 国際理解、伝統文化、世界遺産

高等科

韓国聖心来校

1月に姉妹校の韓国聖心の生徒が来校し、英語で交流し、お互いの文化について学ぶことが出来た。

高等科1年（希望者）

3週間のオーストラリア語学研修では、シドニーとベナーラ（メルボルンの郊外の町）に行き、英語の上達と共に、オーストラリアの歴史やアボリジニーの文化について学んだ。また、ホームステイを通して、オーストラリアの生活を体験した。

高等科2、3年（希望者）

本校主催のカンボジア体験学習では、ツールスレン刑務所、キリングフィールド、地雷博物館、クメール織物研究所や世界遺産アンコールワット遺跡群を訪れた他、現地の小・中・高校生との交流などを行って異文化理解を図った。また、カンボジアの伝統舞踊「アプサラ」を通して伝統文化を体験した。平和や歴史、文化への理解、同世代の相互協力の大切さを学ぶ機会になった。

姉妹校主催のフィリピン、タイ、韓国の体験学習にも参加した。国際理解・異文化の理解を深めるとともに、歴史を学び、社会意識を高め、同じアジアの一員として共に生きていく道を考える体験が出来た。

② 平和・人権

高等科

姉妹校交流プログラム（希望者）

難民と女性や世界の女性をテーマに勉強会を開き、教育協力NGOネットワーク、JNNEの「世界一大きな授業」にも参加した。

模擬国連（希望者）

全国高校生模擬国連大会に参加し、優秀賞とベストポジションペーパー賞を受賞した。優秀賞の生徒は全米大会に出場予定である。また、希望者は校内の模擬国連サークルに参加し、国連の知識や国際理解を深めている。

高等科2年

夏の長崎研修旅行に向けて、「原爆」「キリシタン」と「歴史」の中からテーマを選び、事前学習を行い、現地で検証し、レポートにまとめた。現地では平和公園や原爆資料館を訪れる他、被爆者の体験講話を聞き、平和について学んだ。天草・平戸に分かれて日本のキリシタンについても学習した。

③ 奉仕活動

高等科全学年

老人ホームや保育園などで、全校生徒が奉仕活動を行った。そして奉仕委員会の活動として老人ホームのために拡大カレンダーを作成、フィリピンの台風のための募金活動、クッキーセールの売り上げの寄付など、年間を通して様々な団体に寄付をした。また、岩手県釜石市の子供たちに手作りのクリスマスカードと図書カードを送った。

姉妹校交流プログラム（希望者）

被災地のボランティア活動として、宮城県亘里町を視察し、現状を校内で発表し、奉仕委員会と共に文化祭でNPO法人「いちごっこ」の商品を売る支援を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)